

「いちばん大切なことは、目に見えない」

英語科 坂上祐亮

お気に入りのシリーズに新刊が出たときや、比較的時間がある長期休業中に、のめり込むように一気に読みます。現実を忘れ、本の世界に入り込みます。

お盆休み、私は『星の王子さま』（サン＝テグジュペリ著、河野万里子訳、2006、新潮文庫）を読みました。子どもが楽しむためだけでなく、大人にとっても大切なことを思い出させてくれる物語です。1943年に出版されて以来、世界中で数多くの言語に翻訳され、愛され続けています。

王子さまが大切だと思うことが、大人に理解されない場面があります。大人がしていることを、王子さまが理解できないこともあります。大人に尋ねても、適当に返されてしまうこともあります。だれもがこのような経験をしたことがあるのではないのでしょうか。子どもは、自分だけの世界を持つし、何もかもが気になって、大人にたくさんのことを尋ねます。私も小学生の頃くらいまでは、想像した世界を紙に描いたり、色々な物を配置して自分だけの空間を作ろうとしたりしたことがあります。親や祖父母から「片付けろ」とはよく言われましたが、幸い、自分が考えていることを根掘り葉掘り尋ねられたり、否定されたりするようなことはありませんでした。今思うと、大人も昔はそうだったからではないのでしょうか。大人からしたら、理解できないものであることは間違いないですが、もしあのとき自分が考えていたことを否定されたり、嘲られたりしていたら、と考えると、少しゾッとします。

他の人にとっては何の影響もない些細なことでも、本人にとってはその先の人生が変わってしまう分岐点となる出来事はたくさんあります。「もしあのとき〇〇でなかったら」の世界があるとしたら、世界の数は未来に進むにつれ、とんでもない数になりそうです。

ところで、なぜそんなことをしていたのか。暇だったのです。携帯電話もインターネットもありませんでした。ゲームはありましたが、ずっとできるわけではありません。勉強は宿題以外していませんでした。テレビもずっと面白い番組があるわけではありません。習い事も少しはしていましたが、暇な時間は多かったです。だから、想像して遊ぶしかなかったのです。想像力を豊かにする土壌は、「暇」ではないのでしょうか。

最後に、108ページから。

「…ものごとはね、心で見なくてはよく見えない。いちばんたいせつなことは、目に見えない。」

「きみのバラをかけがえのないものにしたのは、きみが、バラのために費やした時間だったんだ」

☆一人6冊以上、本を借りましょう☆

7月の図書館通信でお知らせしたとおり、皆さんが1学期に借りた本の冊数をそれぞれのカードの右の欄に記入しました。そして、8月までに、すでに本校の目標である『6冊』を達成した人のカードには、シールをつけています。ちなみに、シールのついた人は、下記の表の通りで、全校で145名、全体の15.8%です。

	1組	2組	3組	4組	合計
1年	5人	21人	4人	7人	37人
2年	2人	6人	7人	7人	22人
3年	4人	4人	10人	4人	22人
4年	11人	30人	6人		47人
5年	4人	2人	3人	4人	13人
6年	0人	0人	2人	2人	4人

まもなく、今年度第1回目の読書冊数調査を行います。今年は少し様式を変え、図書館で借りた本の冊数がよく分かるようになっています。2学期は、体育祭、文化祭といろいろな行事があり、忙しいとは思いますが、

10月の終わりから読書週間も始まります。ぜひ、本に親しんでください。

～新刊紹介～(全冊、既に入荷しています。)

- 『東京ディズニーリゾート トリビアガイドブック』 ディズニーファン編
集部【編】
- 『京都寺町三条のホームズ 見習いキュレーターの健闘と迷いの森 後編』 望月麻衣
【著】
- 『護られなかった者たちへ』 中山七里
【著】
- 『鳥居の向こうは知らない世界でした。5 私たちのはてしない物語』 友魔
碧【著】
- 『5分後に意外な結末 オイディプスの黒い真実』 桃戸ハル
【著】
- 『カラスのいいぶん』 嶋田泰子
【著】
- 『青空と逃げる』 辻村深月
【著】
- 『わたしの幸せな結婚 五』 顎木あくみ
【著】
- 『最後の晩ごはん 後輩とあんかけ焼きそば』 榎野道流

【著】

○ 『文豪ストレイドッグス 10 STORM BRINGER』

朝霧カフカ 【著】

○ 『竜とそばかすの姫』

細田守

【著】

○ 『invert 城塚翡翠倒叙集』

相沢沙呼

【著】

○ 『5分で読める驚愕のラストの物語』

集英社編集部

【編】

○ 「完全版 いじめられている君へ いじめている君へ いじめを見ている君へ」

朝日新聞

社【編】

1学期や夏休み中に借りている本は、至急返却してください。